

令和6年度 第1回 埼玉県立近代美術館協議会

日 時：令和6年8月29日（木）午後2時～

会 場：埼玉県立近代美術館 会議室

【目次】

1	令和5年度事業報告	P 1
(1)	常設展示事業	P 1
(2)	企画展示事業	P 3
(3)	美術作品収集事業	P 8
(4)	一般向け普及事業	P 10
(5)	美術館の利用促進事業	P 12
(6)	子供向け事業	P 13
(7)	学校との連携	P 15
(8)	ボランティア活動	P 17
(9)	「椅子」の有効活用	P 18
(10)	一般展示室の利用状況	P 19
2	令和5年度入館者数一覧	P 23
3	令和5年度決算の概要	P 24
4	令和6年度事業実施状況	P 25
(1)	常設展示事業	P 25
(2)	企画展示事業	P 27
(3)	美術作品収集事業	P 32
(4)	一般向け普及事業	P 32
(5)	美術館の利用促進事業	P 33
(6)	子供向け事業	P 34
(7)	学校との連携	P 36
(8)	ボランティア活動	P 38
(9)	「椅子」の有効活用	P 38
(10)	一般展示室の利用状況	P 39
5	令和6年度入館者数一覧	P 40
6	令和6年度当初予算の概要	P 41

令和5年度 事業報告

1 常設展示事業

(1) MOMASコレクション（常設展）の開催

年間を4つの会期に分け、会期毎に名品を核とした「セレクション」コーナーや多彩なテーマを掲げたコーナーを設定し、作品の魅力を紹介した（一部、借用作品を含む）。

（※有料観覧者数には、企画展観覧券付属の招待券で入場した人数を含む。）

内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
<p>○「セレクション：企業の支援によるコレクション」 埼玉りそな銀行（旧埼玉銀行）の支援で開館当初に収蔵された主な作品を取り上げ、当館のコレクションの形成について振り返る。埼玉りそな銀行開業20周年に関連した展示。</p> <p>○「MOMASノ海」 埼玉に、潮の薫りを。海をテーマにした作品を紹介。</p>	47点	自 5月13日（土） 至 8月27日（日） （86日間） ※7月15日～8月27日は、MOMASコレクションの観覧料を無料とする「埼玉りそな銀行フリーデー」を実施。	13,301人 1日当たり 154人 うち有料観覧者数 3,844人 1日当たり 44人 （※参照）
<p>○「セレクション」 モーリス・ドニ、瑛九ほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「特集：須田剋太」 埼玉出身の画家・須田剋太は、生命感あふれる力強い抽象画を数多く制作した。当館の須田剋太コレクションを紹介。</p>	60点	自 9月2日（土） 至 11月26日（日） （76日間）	9,008人 1日当たり 118人 うち有料観覧者数 5,755人 1日当たり 75人
<p>○「セレクション」 モネほか、MOMAS コレクションの名品を紹介。</p> <p>○「魅惑のリアリズム」 倉田弟次郎、上田薫など近現代の作家による「リアル」な表現に注目し、その多彩な魅力を紹介。</p>	36点	自 12月2日（土） 至 令和6年 2月25日（日） （68日間）	7,001人 1日当たり 102人 うち有料観覧者数 4,744人 1日当たり 69人

内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
<p>○「セレクション」 ピカソほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「チェアーズー椅子の美術館」 当館が所蔵するデザイン椅子を一挙公開。「椅子の美術館」としての歩みをたどる。</p> <p>○「さいきんのたまもの」 田中保や正木隆の作品など、近年の新たな収蔵品を紹介。</p>	80点	自 令和6年 3月2日（土） 至 令和6年 6月2日（日） （78日間）	11,412人 1日当たり 146人 うち有料観覧者数 8,084人 1日当たり 103人

(2) サンデー・トークの開催

MOMASコレクション等の展示作品から毎回1点を選び、学芸員による解説を実施した。

	期日	担当	解説作品	参加者数
①	5月21日（日）	平野学芸員	パブロ・ピカソ《静物》	25人
②	7月16日（日）	五味学芸員	スクリプカリウ落合安奈 《Blessing Beyond the Borders》	14人
③	8月27日（日）	吉岡学芸員	マルク・シャガール《二つの花束》	32人
④	10月8日（日）	大越学芸員	須田剋太《作品 1984白》	22人
⑤	11月26日（日）	嶋原学芸員	ポール・シニャック《アニエールの河岸》	25人
⑥	1月28日（日）	菊地学芸員	牧野虎雄《晚き夏》	20人
⑦	2月18日（日）	佐藤学芸員	小島喜八郎《草冬》	23人
⑧	3月3日（日）	篠原学芸員	クロード・モネ《ルエルの眺め》	30人

2 企画展示事業

(1) 企画展の開催

特定のテーマのもとに、国内外の作品を年4回展示した。

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
戸谷成雄 彫刻	戸谷成雄（1947-）は1970年代から彫刻家としてのキャリアをスタートさせ、戦後の日本美術における彫刻表現を牽引してきた。本展では初期作品のほか、「森」、「ミニマルバロック」シリーズを含む代表作を紹介し、その活動の全貌を振り返る。	39点	自 2月25日（土） 至 5月14日（日） （69日間／ R5年度・39日間）	R5年度 5,417人 1日当たり 138人 うち有料 観覧者数 3,189人 1日当たり 81人 R4・R5計 7,996人
横尾龍彦 瞑想の彼方	横尾龍彦（1928-2015）は、日本とドイツを往来しながら活躍した画家である。1960年代後半、神話や聖書を題材とした幻想画を描き、澁澤龍彦や種村季弘ら著名人に認められた。1980年以降には、禅やルドルフ・シュタイナーの思想に影響を受け、瞑想によって湧き上がるイメージを、絵具の激しい飛沫やダイナミックな描線によって抽象的に表現するようになった。晩年は埼玉県内のアトリエを拠点に、制作やワークショップに尽力しました。本展では、その活動の全貌を紹介する。	146点	自 7月15日（土） 至 9月24日（日） （65日間）	7,868人 1日当たり 121人 うち有料 観覧者数 4,282人 1日当たり 65人

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
イン・ビトウィーン	近年当館の収蔵作家となった早瀬龍江、ジョナス・メカス、林芳史に、ゲスト・アーティストとして潘逸舟を加えた4名の作家に焦点を当てる。自身の身体的な感覚を抛りどころに、日常や歴史、国境などさまざまな境界の間に立ち、往還を試みるアーティストたちの眼差しを紹介する。	104点	自 10月14日(土) 至 令和6年 1月28日(日) (85日間)	8,500人 1日当たり100人 うち有料観覧者数 4,659人 1日当たり54人
アブソリュート・チェアーズ	私たちの身近な存在である椅子は、権威の象徴として、記憶の依り代として、あるいは拡張された身体として、様々な意味や象徴性をまとっている。アーティストたちは椅子がもつ意味をとらえ、作品を通じて社会の不和や矛盾、個人的な記憶や他者との関係性などを浮かび上がらせてきた。本展では、椅子をめぐる国内外の平面・立体・映像作品を紹介し、現代美術のなかの椅子の機能や含意を読み解く。	83点	自 令和6年 2月17日(土) 至 5月12日(日) (76日間/ R5年度・38日間)	5,066人 1日当たり133人 うち有料観覧者 3,157人 1日あたり83人 (R6年度 6,190人) R5・R6計 11,256人

(2) アーティスト・プロジェクトの開催

MOMAS コレクションや企画展の枠を超え、現在活躍しているアーティストを紹介する展示プログラムとして開催した。

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
アーティスト・プロジェクト#2.07 永井天陽 遠回りの近景	永井天陽（1991-）は、アクリル材や剥製、既製品など、異なる素材を重ね合わせることで、多重の境界をもつ彫刻作品を制作してきた。内と外が主張し合いながら一体化する作品群は、表層とかたち、輪郭の関係を揺らがせ、日常の認識を問いかける。本展示では、永井の最新作を交えたインスタレーションを館内各所で行う。	25点	自 10月14日（土） 至 令和6年 1月28日（日） （85日間）	—

(3) 関連事業等の開催

企画展等についての理解を深めるため、関連事業等を開催した。

ア 横尾龍彦 瞑想の彼方

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
9月10日（日）	特別対談 鎌田東二氏 ×水沢勉氏	鎌田東二（京都大学名誉教授）×水沢勉（神奈川県立近代美術館館長）	60人	97人

イ イン・ビトウィーン

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
10月14日（土）	アーティスト・トーク	潘逸舟（本展出品作家）×長島有里枝（アーティスト）	80人	60人
11月12日（日）	ジョナス・メカス映像作品上映会（第1回）	プログラム：「いまだ失われざる楽園、あるいはウーナ3歳の年」「富士山への道すがら、わたしが見たものは…」	60人	45人

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
12月3日（日） 12月10日（日） *2回連続	ワークショップ「見つめる窓」	潘逸舟（本展出品作家）	10人	3日（日） ：9人 10日（日） ：6人
12月24日（日）	ジョナス・メカス映像作品上映会（第2回）	プログラム：「アンディ・ウォーホルの授賞式」「楽園のこちら側」ほか	60人	81人
12月24日（日）	ジョナス・メカス映像作品上映会（ゲストによるトーク）	清原惟（映画監督・映像作家）×井戸沼紀美（「肌蹴る光線」主宰）	60人	65人

ウ アブソリュート・チェアーズ

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
令和6年 2月23日 （金・祝）	座談会「美術のなかの椅子なるもの」	山口恵里子（筑波大学教授）×建畠哲（当館館長）×鵜尾佳奈（愛知県美術館学芸員）×佐伯綾希（当館学芸員）	80人	32人
令和6年 3月10日（日）	パフォーマンス＋トーク＋上映会	石田尚志（本展出品作家）	80人	52人

エ アーティスト・プロジェクト#2.07

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
11月18日（土）	ワークショップ「かけら・かたち」	永井天陽（本展出品作家）	20人	20人

(4) ギャラリー・トークの開催

より充実した鑑賞の機会とするため、担当学芸員等による展示解説を実施した。

企画展名等	実施日	参加者数
横尾龍彦 瞑想の彼方	7月15日 (土) 8月6日 (日)	26人 27人
イン・ビトウィーン	1月13日 (土)	30人
アブソリュート・チェアーズ	3月23日 (土)	30人
アーティスト・プロジェクト#2.07	12月2日 (土)	13人

(5) さいたま国際芸術祭2023との連携

企画展「イン・ビトウィーン」と「アーティスト・プロジェクト#2.07 永井天陽 遠回りの近景」について、「さいたま国際芸術祭 2023」(会期：10/7-12/10、主催：さいたま国際芸術祭実行委員会)と連携して事業を実施した。芸術祭の会期中、芸術祭のチケット購入者に当館を含む連携施設の割引クーポンの配布や芸術祭会場施設を巡るスタンプラリーへの参加等を行った。

〈実績〉

- ・割引クーポン利用者数：401人
(企画展「イン・ビトウィーン」観覧者数：5,137人 *12月10日まで)
- ・スタンプラリー参加者数(当館)：57人
(スタンプラリー参加者数(全体)：360人)

(6) ミュージアム・シアターの開催

映画や音楽、パフォーマンスといった、展覧会での紹介が難しい表現について取り上げるプログラムとして、「女性たちの映像表現」をテーマにしたミュージアム・シアターを開催した。

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
令和6年 3月17日 (日)	上映作品：マヤ・デレン「午後の網目」、出光真子「加恵、女の子でしょ!」、清原惟「ひとつのバガテル」ほか	—	80人	50人
令和6年 3月24日 (日)	上映作品：マヤ・デレン「午後の網目」、出光真子「主婦の一日」、清原惟「わたしたちの家」ほか ゲストによるトーク(上映終了後に開催)	清原惟(映画監督・映像作家)×中西香南子(国立映画アーカイブ 特定研究員)	80人	98人

3 美術作品収集事業

近現代美術を対象に、本県にゆかりのある作家及び本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品を収集している。令和5年度は、美術資料選考評価委員会を2回開催し、39件の貴重な作品を収集した。

- ・第1回美術資料選考評価委員会 令和5年9月22日(金) 対面(寄贈:26点、寄託:5点)
 - ・第2回美術資料選考評価委員会 令和6年1月25日(木)～2月6日(火) 持ち回り審議(寄贈:8点)
- なお、作品の購入については、財政状況が厳しいことから、実施出来ない状況が続いている。

◆寄贈(34点)

令和6年3月31日現在

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
1	立体その他	彦坂尚嘉	史律におけるブラクティス 7	1976(昭和51)年	ビニール、ニス、木	2
2	立体その他	彦坂尚嘉	史律におけるブラクティス 8 P.W.P. 1	1976(昭和51)年	クリア・アクリル、木	2
3	ドローイング	文谷有佳里	drawing 2022.6.25	2022(令和4)年	ペン、カーボン紙、紙	2
4	ドローイング	文谷有佳里	drawing 2022.6.26	2022(令和4)年	ペン、カーボン紙、紙	2
5	ドローイング	文谷有佳里	drawing 2022.6.27	2022(令和4)年	ペン、紙	2
6	ドローイング	文谷有佳里	なにもない風景を眺める 2010.10.21	2010(平成22)年	ペン、紙	2
7	ドローイング	文谷有佳里	なにもない風景を眺める	2012(平成24)年	ペン、韓紙	2
8	写真	佐野陽一	reservoir(秋日)	2015-22(平成27-令和4)年	発色現像式印画	2
9	写真	佐野陽一	flow(秋日)	2015-22(平成27-令和4)年	発色現像式印画	2
10	写真	佐野陽一	flow(秋日)	2015-22(平成27-令和4)年	発色現像式印画	2
11	写真	森村泰昌	花と包丁	1990(平成2)年	タイプCプリント	2
12	油彩画	須田剋太	ざくろ	1930年代前半	油彩、カンヴァス	1
13	油彩画	須田剋太	妙義山	1941(昭和16)年	油彩、カンヴァス	1
14	油彩画	須田剋太	二月堂	1942-45(昭和17-20)年頃	油彩、カンヴァス	1
15	油彩画	須田剋太	読書する男	1939(昭和14)年	油彩、カンヴァス	1
16	油彩画	須田剋太	あやめ	1941(昭和16)年	油彩、カンヴァス	1
17	油彩画	須田剋太	神将	1942(昭和17)年	油彩、カンヴァス	1
18	ドローイング	須田剋太	地獄谷線刻仏	1956(昭和31)年	グアッシュ、紙	1
19	ドローイング	須田剋太	男の像	1936(昭和11)年	グアッシュ、墨、鉛筆、コンテ、紙	1
20	ドローイング	須田剋太	《老人像》習作	1941(昭和16)年頃	コンテ、鉛筆、墨、紙	1
21	ドローイング	須田剋太	妙心寺法堂	1942(昭和17)年	鉛筆、グアッシュ、コンテ、墨、紙	1
22	ドローイング	須田剋太	神将 摩虎羅	1942(昭和17)年	コンテ、鉛筆、水彩、紙	1
23	ドローイング	須田剋太	大磯千畳敷裏山	1938(昭和13)年	コンテ、鉛筆、水彩、紙	1
24	ドローイング	須田剋太	寺	1940年代前半	コンテ、鉛筆、水彩、紙	1
25	ドローイング	須田剋太	かぼちゃ	1940年代前半	グアッシュ、コンテ、紙	1
26	資料	瑛九	手鏡を持つ女	1954(昭和27)年、複製:1984(昭和59)年	ゼラチン・シルバー・プリント	1

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
27	立体その他	遠藤利克	“空洞説—壺⇄水”のためのプラン	2021(令和3)年	パテ、鉛筆、鉛、銅、緑青、ボード	1
28	映像	諫山元貴	壺	2009(平成21)年	フルHD、デジタル・ビデオ	3
29	映像	諫山元貴	Order#10	2022(令和4)年	フルHD、デジタル・ビデオ	3
30	油彩画	横尾龍彦	エゼキエルの幻視	1966(昭和41)年	油彩、カンヴァス	1
31	油彩画	横尾龍彦	引き出されたカオス	1968(昭和43)年	油彩、カンヴァス	1
32	油彩画	横尾龍彦	水と霊	1966(昭和41)年	油彩、カンヴァス	1
33	ドローイング	横尾龍彦	黝い玉座	1972(昭和47)年	グアッシュ、紙	1
34	油彩画	横尾龍彦	青い風	2003(平成15)年	ミクストメディア、カンヴァス	1
※ 収集方針: 1 本県にゆかりのある優れた作家の作品 2 本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品 3 本県美術文化の振興に寄与する作品 4 上記の作家及び作品を理解する上で必要とする資料						

◆ 寄託 (5点)

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
1	ドローイング	ポール・セザンヌ	シャトー・ノワールの近くの高台から見たサント=ヴィクトワール山	1900-02年	鉛筆、水彩、紙	2
2	ドローイング	武内鶴之助	ロンドン郊外の夕暮	1910-12(明治43-大正元)年	パステル、紙	1
3	ドローイング	武内鶴之助	伊豆の海岸	1940(昭和15)年	パステル、紙	1
4	日本画	菊沢武江	秩父御巡幸絵巻	1956(昭和31)年	彩色、絹	1
5	日本画	菊沢武江	東宮同妃熊谷行啓絵巻	1965(昭和40)年頃	彩色、絹	1
※ 収集方針: 1 本県にゆかりのある優れた作家の作品 2 本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品 3 本県美術文化の振興に寄与する作品 4 上記の作家及び作品を理解する上で必要とする資料						

◆ 令和5年度収集作品数と収蔵作品総数

区分	令和5年度収集点数			令和6年3月31日現在
	購入	寄贈	保管転換ほか	収蔵作品 総数
日本画	0	0	0	505
油彩画ほか	0	10	0	686
ドローイング	0	14	0	851
版画	0	0	0	1,395
写真	0	4	0	226
映像	0	2	0	6
平面その他	0	2	0	21
彫刻	0	0	0	198
立体その他	0	1	0	14
工芸	0	0	0	50
書	0	0	0	31
資料Ⅰ	0	1	0	151
資料Ⅱ	0	0	0	34
合計	0	34	0	4,168

4 一般向け普及事業

(1) ミュージアム・レクチャーの開催

多くの方々に美術及び関連領域に親しんでもらうため、レクチャーを含むプログラムを実施した。内容については当館で開催する展覧会や収蔵作品と必ずしも結び付けず、聴講者が今後当館だけでなく様々な場で作品を鑑賞する時や、制作を行う際の刺激となることをねらいとした。

期 日	内 容	講 師	定員等	参加者
3月16日（土）	日本画の表装文化ー 古美術から現代絵画まで	稲崎昌仁 （「経新堂 稲崎」表具師）	定 員：80人 参加費：無料	70人

(2) 一般団体案内

企画展やMOMASコレクション展を観覧する2人以上の団体を対象に、スライドによる案内（「スライド・トーク」）を行った。内容は、展覧会の見どころや作品解説、美術館全体の案内、屋外彫刻の解説など、希望に応じた内容・時間で対応した。

なお、視覚障がい者を対象としたガイドも実施した。

実績：スライド・トーク 7団体 104人

視覚障がい者鑑賞ガイド：1団体 2人

(3) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行った。

開室日時：火・木・土曜日の13時～17時

開室日数：149日

利用者数：1,719人

レファレンス受付件数：103件

(4) 広聴広報活動

ア 来館者の意見を美術館活動に反映していくため、アンケートコーナーを設置。

併せて、企画展、MOMASコレクション、普及関連の講座等でアンケート調査を実施した。

（企画展アンケート結果）

- ・「戸谷成雄 彫刻」

2月25日～5月14日（69日間）/回答数169/満足度95%

- ・「横尾龍彦 瞑想の彼方」

7月15日～9月24日（65日間）/回答数259/満足度96%

- ・「イン・ビトウィーン」

10月14日～1月28日（85日間）/回答数237/満足度89%

- ・「アブソリュート・チェアーズ」

2月17日～5月12日（76日間）/回答数523/満足度97%

(MOMAS コレクションアンケート結果)

- ・5月13日～8月27日(102日間)/回答数142/満足度96%
- ・9月2日～11月26日(77日間)/回答数82/満足度99%
- ・12月2日～2月25日(68日間)/回答数510/満足度98%
- ・3月2日～6月2日(57日間)/回答数677/満足度99%

(MOMASのとびらアンケート結果)

満足度97% (事前申込制のプログラムに限る)

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望に対し、随時回答を行った。

ウ 広報紙「ソカロ(MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の公民館・図書館等の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国の美術館などに配布した。

実績：約4,000箇所年に6回配布

エ 美術館ホームページやX、Facebook等を活用して、企画展やMOMASコレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信した。

実績：ホームページ 年間ページビュー数 912,242PV

X 総フォロワー数 27,588人

Facebook 総フォロワー数 3,354人

オ プレスリリースの配信、記者発表、プレス内覧会の実施など、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEB等各種の媒体に向けたパブリシティを行った。

実績：プレスリリース 3回、報道発表 5回、プレス内覧会 3回

カ Google Arts & Cultureに参加し、当館のコレクションやストリートビューを発信した。

キ MOMAS コレクション及び企画展の開催にあわせ、JR東日本大宮支社の協力を得て北浦和駅構内にポスターを掲出した。

ク JR大宮駅東口「アイ大宮東ビジョン」にて、企画展「イン・ビトウィーン」のPR動画を配信した。(1月1日～1月28日、15秒/時間)



(ビジョンイメージ画像)

ケ 北浦和地区の自治会、商店会あて、企画展チラシの回覧や掲示を行った。

コ 観覧料無料サービス

(1) 7月15日(土)～8月27日(日)

埼玉りそな銀行開業20周年にちなんで、「埼玉りそな銀行フリーデー」としてMOMASコレクション観覧料無料サービスを実施。

(2) 県民の日に、MOMASコレクション観覧料無料サービスを実施。

サ 国立国会図書館によるデータベース「ジャパンサーチ」に収蔵作品の情報を提供し、一般に公開した。

シ 県・県民広聴課が11月14日(火)にWEB上に開設した「バーチャル埼玉」(※)へ参加し、館の概要や展覧会情報、教育普及事業について掲載した。

※ 埼玉県が、県の魅力発信や各種相談・交流等の行政サービスを提供するために運用するメタバース空間。埼玉オリジナルアバター(ばーたま)で空間へ入ると、3Dで再現された埼玉の街並みや地形が広がり、リアルとバーチャルが融合した不思議な空間をいつ・どこからでも簡単に散策することができる。

(<https://virtual-saitama.pref.saitama.lg.jp/>)

5 美術館の利用促進事業

(1) 北浦和公園ポリス・コンサート

北浦和公園の活用を通じて、美術館利用を促進するため、下記の事業に協力した。

(※大雨により、主催者の判断で中止。)

期 日	内 容	場 所	定員	参加者数
6月3日(土) ※中止	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課	北浦和公園 噴水広場	—	—

(2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんや未就学児など、乳幼児のお子様と一緒にゆっくり作品を観覧していただけるよう、MOMASコレクション「ファミリー鑑賞会」を企画した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和元年11月以降開催を見合わせていたため、4年3か月ぶりの開催となった。

期 日	内 容	参加者数
令和6年 2月20日(火)	スタッフによる作品解説及び観覧サポート	9組19人

6 子供向け事業

(1) 「MOMASのとびら」

主に土曜日に「MOMASのとびら」としてワークショップを開催した。

各ワークショップは、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や当館ボランティア「教育普及サポート・スタッフ」等の協力を得て実施した。

令和3年度より、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、より安全に実施できるプログラムに絞り、事前予約制で実施することとした。各回の定員を少人数にすることで参加者が限られてしまうため、プログラムによっては同じ内容を複数回行うようにした。

令和5年度は人数制限を緩和し、一部プログラムは予約なしで実施した。

ア 「みる+つくる」

MOMASコレクションや企画展を鑑賞し、それをもとに工作などを行った。

期 日	内 容	定 員	参加者数
5月20日	「作品をみつめて…額縁をつくろう！」	18人	13人
10月28日	「世界にひとつ！喜びの自分旗をつくろう！」	〃	12人
11月 4日	※10月28日と同様。	〃	16人
12月 9日	「みえる？みえない？ 感じて！『間の世界』」	〃	17人
12月16日	※12月9日と同様。	〃	17人

イ 「親子クルーズ」

MOMASコレクションや企画展を親子で鑑賞し、鑑賞をもとに工作などを行った。

期 日	内 容	定 員	参加者数
7月15日	「不思議な果実！君の中身はなんだろな？」	10組	18人
7月22日	※7月15日と同様。	〃	18人
令和6年 2月 3日	「身近なものでつくろう 魅惑のウェア！」	9組	15人
2月10日	※2月3日と同様。	〃	14人

ウ 「み～つけ！」

幼児（4歳から）とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しむプログラムを行った。

期 日	内 容	定 員	参加者数
6月 3日	「MO “MAほうつかい” がMOMASをそめる！」	6組	13人
6月10日	※6月3日と同様。	〃	12人
11月25日	「MOMASで紙の上の運動会！」	〃	14人
12月 2日	※11月25日と同様。	〃	14人

エ 「工房」

美術館ならではの作品づくりを楽しむプログラムを行った。

期 日	内 容	定 員	参加者数
6月24日	「まるまるあなただけのランプシェードを作ろう！」	18人	15人
7月 1日	※6月24日と同様。	〃	13人
令和6年 1月20日	「絵画の中から飛び出して！」	〃	14人
1月27日	※1月20日と同様。	〃	14人
3月 2日	「自分だけのNo.1チェア」	〃	15人
3月 9日	※3月2日と同様	〃	16人

オ 「彫刻あらいぐま」

屋外彫刻を親子で洗って鑑賞するプログラムを行った。彫刻ボランティアが講師として活動した。

期 日	内 容	定 員	参加者数
4月29日	「あらって見よう！彫刻作品」	4組	11人
5月13日	(雨天のため中止)	〃	—
9月 9日	(雨天のため中止)	〃	—
9月16日	「あらって見よう！彫刻作品」	〃	7人

カ 「フリープログラム」

天候・会場等に合わせ、誰でも気軽に参加できるプログラムを実施した。
プログラムの内容や会場等に応じて、時間制で複数回実施した。

期 日	内 容	参加者数
4月 8日	「洗濯ばさみで絵を描こう！」 「わくわく鑑賞ツアー」	57人
4月22日	「キラキラカチカチ★スプーンワールド」 「わくわく鑑賞ツアー」	45人
5月 6日	「風を描こう！」 「カクカクつなげて遊ぼう！」	191人
10月 7日	「洗濯ばさみで絵を描こう！」 「お顔をトレース★肖像画！」	132人
令和6年 1月13日	「アート★ビンゴ」	61人

キ 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別プログラムを行った。

期 日	内 容	定 員	参加者数
8月 5日	「ガムテープのズック屋さん！」 (段ボールと新聞紙でオリジナルの靴をつくる。講師：佐藤いちろう氏)	18人×2部	29人
8月12日	フリープログラムDAY	内容によって異なる	212人
8月19日	「王冠をつくろう！」 (講師：平島鉄也氏)	18人	16人
8月26日	「みる+つくる サマー・アドベンチャー特別版 横尾龍彦さんになりきろう！—無意識から生まれる 色とかたち—」	18人	15人

ク 「もますまつり」

県民の日に、誰でも参加できるプログラムを行った。

期 日	内 容	定 員	参加者数
11月14日 (火)	「キラキラカチカチ★スプーンワールド」 「わくわく鑑賞ツアー」 「風を描こう！」	—	330人

(2) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子供たちが美術館を効果的に利用できるよう、ボランティアによる情報提供やアドバイス等を行った。

※小中学校の夏休み期間に合わせて休館日を除き毎日開催 (7/15～8/29、41日間)

利用者数：2,783人

(3) 「夏休みガイド・ツアー」

来館した小・中学生を主な対象として、夏休み期間中の午前中の30分間、常設展示室をサポート・スタッフが対話型の鑑賞を行いながら案内した。

実績：8月11日 (金・祝) /参加者55人

7 学校との連携

(1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図った。

期 日	内 容	定 員	参加者数
8月 3日 (木)	「造形遊びをとおして図工の時間をアップデートさせよう！」 (講師：石上城行／埼玉大学教育学部芸術講座 教授)	20人	24人
8月10日 (木)	「色、いろ、イロで、空を舞う！」 (講師：代 淳子／行田市立太田中学校 教諭)	24人	23人

(2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

埼玉大学の学生が、美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する協定を継続。また、他大学にも様々な教育普及事業への協力を依頼した。

(3) 博物館実習生の受入れ

「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要領」に基づき、学芸員志望の学生向けに実習を行った。実習期間は合同実習 (7月下旬の4日間) と個別実習 (7月末から8月末までの間の3日間) の合計7日間で、15大学20人を受け入れた。(定員20人)

個別実習：7月18日～7月21日、合同実習：7月22日～8月31日

実習では主に以下の内容をもとにカリキュラムを組んだ。

- 美術館全般について (学芸、管理、施設見学等)
- MOMAS コレクション (常設展) について

- 企画展の概要・実務・関連事業等について
- 美術資料の収集と保存について
- 作品・図書等の取り扱いについて
- 学校・教育普及事業の概要・学校との連携・「MOMASのとびら」・ボランティア制度について
- 広報と刊行物について

(4) 学校を含めた団体利用の受入れ

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行った。

- ① 1階展示室「MOMAS コレクション」案内
- ② 2階展示室「企画展」案内
- ③ かならず出会える作品たち（屋外彫刻）案内
- ④ グッドデザインの椅子鑑賞
- ⑤ ワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう！」体験
- ⑥ アートカードを使った鑑賞
- ⑦ バックヤード見学

※実績：36団体 1,845人

(5) 学校への授業協力

以下の内容の他、児童生徒の実態や授業のねらい等に合わせた出張授業を行った。

- ① 「知ってる？ピカソ！」
- ② 「日本画って何だろう？」
- ③ 「みつめよう！シャガールさんのこの思い」
- ④ 「見て★座って！お気に入りの椅子を見つけよう！」
- ⑤ 「洗濯ばさみで絵を描こう！」

※実績：44校 152学級 4,148人

(6) 研修協力

依頼に応じて、各学校の校内研修や市町村単位での図工・美術の授業研究において講義等を行った。

※実績：8件 166人

(7) 複製画やアートカードの貸し出し

当館収蔵作品の複製画や複製パネル、アートカードなどの教材を学校に貸し出した。

※実績：33件 139セット

(8) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

県内の学校にアーティストと当館職員を派遣してワークショップを行い、鑑賞や制作活動を通して児童生徒に美術の楽しさや美術的な価値観・視点を伝える授業を実施した。

※実績：2校

・2月8日（木）「影のワークショップ」

講 師：美術家 青木聖吾／実施校：三郷市立前谷小学校／57人参加

・2月21日（水）「丸シールでいろいろな世界を描こう！」

講 師：現代美術家 大村雪乃／実施校：戸田市立美谷本小学校／104人参加

(9) 公募プログラム

「みつめて、かんじて、たべてみて！-作品のみかた・味わいかた」の開催

美術館における教育普及活動をアピールし、学校連携の強化・継続を図るため、県内の児童生徒を対象とした公募プログラムを実施した。

令和5年度は4点の課題作品から1点を選び、作品からわき上がった「食」のイメージを描くプログラムとして実施した。

また、応募作品から7点の受賞作品を選考し、表彰式及び総合グランプリの作品をもとに創作した料理を試食するイベントを開催した。

なお、表彰式及び試食イベントの様子は美術館ホームページでも紹介している。

(公募展の様子：<https://pref.spec.ed.jp/momas/kouboten>)

応募作品：129点 表彰式／試食イベント：11月19日（日）

受賞作品7点はパネル展示、その他応募作品すべてを1階ギャラリーに展示した。

(展示期間：11月14日（火）～1月28日（日）)

8 ボランティア活動

(1) 美術館サポーター

常設展の解説ガイドを行うボランティアとして平成12年に発足し、当館が月1回開催する研修会へ参加するとともに、自主的な研修を重ねている。主な活動としては、「MOMASコレクション」開催中のほぼ毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため作品解説を行った。

※登録者数：31人

(2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASのとびら」等の教育普及事業をサポートするボランティア・スタッフとして活動している。教員や美術教育に関心をもつ学生等が参加し、毎年6月中旬から7月初めまでに行う研修を経て、1年間の任期で活動を行った。

※登録者数：74人

(3) 彫刻ボランティア

平成29年度より、土曜日の子供向け普及事業「MOMASのとびら」にて、彫刻洗浄プログラムを行う際の外部講師として活動している。

令和5年度は、春季と秋季に2回ずつプログラムを企画（春季：4月29日、5月13日、秋季：9月9日、9月16日）して実施。（5月13日と9月9日は雨天のため中止。）

※登録者数：8人

9 「椅子」の有効活用

当館が収集している国内外のグッド・デザインの椅子を、来館者に自由に鑑賞してもらおう。これらの椅子は、企画展やMOMASコレクションの展示替えに合わせて、定期的に入れ替えを行い、常時20脚～30脚程度を館内の各所に配置するとともに、当館ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介した。また、学校への授業協力等でも活用した。

10 一般展示室の利用状況

No.	展覧会名	開催期間 R4年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	第二回「扇面書画の世界」	4月4日	4月9日	6	2	書、水墨画	114	600	100
2	2023阿佐見昭彦写真展「記憶の迷宮」	4月4日	4月9日	6	3	写真	38	732	122
3	第37回漢水会展	4月4日	4月9日	6	4	日本画、水彩、油彩、書、水墨画	49	587	97
4	第38回さいたま関秀展	4月11日	4月16日	6	1	書	54	604	100
5	第51回主体美術武蔵野作家展	4月11日	4月16日	6	2.3	油彩・アクリル	75	596	99
6	第9回彩友会ボタニカルアート展	4月11日	4月16日	6	4	水彩	56	742	123
7	群炎埼玉支部展	4月18日	4月23日	6	2	水彩、油彩、工芸、写真、創作人形	65	477	79
8	細田喜代美展	4月18日	4月23日	6	3	油彩	31	464	77
9	第67回ありあるクリエイションズ藝術企画 ヨンスミトシオ個展	4月18日	4月30日	12	4	油彩、版画、水墨画	44	1,037	86
10	第46回埼玉女流工芸展	4月27日	4月30日	4	1	工芸	123	880	220
11	第17回フォト・トルトゥーガ写真展	4月25日	4月30日	6	2	写真	54	790	131
12	矢部彰日本画展-晩年を生きる私の心の色-	4月25日	4月30日	6	3	日本画	50	309	51
13	第26回埼玉二科展	5月2日	5月7日	6	1~4	水彩、油彩、彫刻、デザイン	109	1,460	243
14	第71回埼玉県美術展覧会	5月31日	6月22日	20	1~4	日本画、油彩、彫刻、工芸、書、写真	1,839	18,011	900
15	第42回埼玉県高等学校写真連盟写真展	7月4日	7月9日	6	1	写真	500	1,081	180
16	第28回基の会展	7月4日	7月9日	6	2	油彩	17	394	65
17	第33回白の会	7月4日	7月9日	6	3	油彩	26	458	76
18	第21回埼玉独立展	7月11日	7月16日	6	1	油彩、その他、アクリル	59	595	99
19	2023埼玉モダンアート展	7月11日	7月16日	6	2・3	水彩、油彩、版画、その他、スペースアート	34	586	97
20	明鏡止水展 付鴻雁展	7月11日	7月16日	6	4	その他、アクリル	42	529	88
21	第49回埼玉二紀展	7月18日	7月23日	6	1~4	油彩、彫刻	89	1,006	167
22	工藤信芳展	7月25日	7月30日	6	2	水彩、油彩、コラージュ	54	386	64
23	SakuraIsono 原島辰男二人展	7月25日	7月30日	6	4	写真、その他、アクリル	46	559	93
24	高桑昌作画業50周年記念「自己分析展」	8月1日	8月6日	6	1	その他、ミクストメディア	66	685	114
25	第32回旺玄会埼玉支部展	8月1日	8月6日	6	2~4	日本画、水彩、油彩、版画、アクリル、ミクストメディア	79	680	113
26	第57回埼玉平和美術展	8月8日	8月13日	6	1~4	油彩、写真、工芸、その他、インスタレーション	353	1,358	226
27	第7回公募ZEN展	8月15日	8月20日	6	1	日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、工芸、写真	185	1,455	242
28	武蔵野写真（内野知樹）	8月15日	8月20日	6	4	写真	1,466	608	101
29	第35回墨芳展併催第9回墨芳学生書道展	8月23日	8月27日	5	1・3	書	448	922	184
30	第2回グループエスポワール絵画展	8月22日	8月27日	6	4	水彩、油彩	31	696	116
31	第61回公募新構造埼玉展	8月29日	9月3日	6	1	油彩、水彩、ドローイング、版画	69	682	113
32	ヨンスミトシオ展	8月29日	9月10日	12	4	水彩、版画、その他、水墨画	42	808	67
33	第36回埼玉創元会（公募）	9月5日	9月10日	6	1	日本画、水彩、油彩	62	624	104
34	現代中国芸術国際交流第5回目	9月5日	9月10日	6	2・3	水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻、水墨画	50	410	68
35	第66回埼玉書道展併催高等学校臨書の部	9月15日	9月17日	3	1~4	書	712	950	316
36	第40回埼玉県写真サロン	9月19日	9月24日	6	1	写真	410	1,123	187

No.	展覧会名	開催期間 R4年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
37	第15回フォトサークル・オプト写真展	9月19日	9月24日	6	2	写真	229	956	159
38	フォトグループWAVE第37回写真展	9月19日	9月24日	6	3	写真	89	874	145
39	第13回ニコール裏都さいたま支部写真作品展	9月19日	9月24日	6	4	写真	41	758	126
40	ムサ美埼玉2023展	9月26日	10月1日	6	1	日本画、水彩、油彩	124	774	129
41	悠友展	9月26日	10月1日	6	2・3	水彩、油彩	58	541	90
42	東涂西沫「中日絵画の融合」 王淑芝（在日三十年回顧展）	9月26日	10月1日	6	4	日本画、墨彩画	76	473	78
43	公募第55回第一美術協会埼玉支部展	10月3日	10月8日	6	1	水彩、油彩、彫刻、工芸、水墨画	142	951	158
44	第56回埼玉三軌展	10月3日	10月8日	6	2・3	日本画、水彩、油彩	54	548	91
45	第38回淡水会展	10月3日	10月8日	6	4	日本画、水彩、油彩	46	599	99
46	第19回水彩連盟埼玉西支部展	10月10日	10月15日	6	1	水彩	49	817	136
47	第22回純展埼玉支部展	10月10日	10月15日	6	2	水彩、油彩、その他、ペン画	79	652	108
48	黄綬褒章受章記念 和紙ファイバーアートの世界 山口幸子展	10月10日	10月15日	6	3	その他、和紙	25	985	164
49	椿会 創作人形展（たのしい仲間達）	10月10日	10月15日	6	4	工芸 創作人形	230	795	132
50	第8回海遊舎書展	10月17日	10月22日	6	1	書	89	346	57
51	第24回地平展	10月17日	10月22日	6	2	油彩、その他、インスタレーション	45	471	78
52	第38回アート現字展	10月17日	10月22日	6	3	油彩、その他、アクリル、コラージュ	30	329	54
53	全日写連浦和支部写真展	10月17日	10月22日	6	4	写真	33	473	78
54	第44回太平洋埼玉展	10月24日	10月29日	6	1	水彩、油彩、版画、その他、染織	99	699	116
55	現代アート「実験02」展	10月24日	10月29日	6	2	油彩、工芸、その他、ミクストメディア	87	537	89
56	第41回キャンノンフォトクラブ浦和写真展	10月24日	10月29日	6	3	写真	46	493	82
57	2023CAFネビュラ展	11月1日 11月7日	11月5日 11月12日	11	1~4 1~3	日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、その他、イン スタレーション	90	3,105	282
58	加藤修絵画展	11月7日	11月12日	6	4	水彩、油彩	41	389	64
59	第66回埼玉県高校美術展	11月15日	11月19日	5	1~4	日本画、水彩、油彩	866	3,361	672
60	第62回高校書道展	11月22日	11月26日	5	1~4	書	645	682	136
61	第14回障害者アート企画展 ーアートミーティングさいたま国際芸術祭ー	11月29日	12月3日	5	1~4	日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画、彫 刻、工芸、写真	600	1,700	340
62	第57回全日本書道芸術展	12月5日	12月10日	6	1・2	書	289	499	83
63	写真展 何気ない日々の一期一会	12月5日	12月10日	6	4	写真	48	345	57
64	永山佐和子水彩画展	12月12日	12月17日	6	4	水彩	40	786	131
65	第58回「郷土を描く児童生徒美術展」	12月23日	12月24日	2	1~4	水彩	120	606	303
66	第26回凧の会展	1月9日	1月14日	6	1~4	日本画、水彩、油彩、彫刻、工芸	162	632	105
67	第45回埼玉県書道人連盟役員新春展併催「大作展」	1月16日	1月21日	6	1~4	書	217	681	113
68	文教大学教育学部学校教育課程美術専修卒業制作展	1月23日	1月28日	6	1	油彩、工芸、その他、アクリル	13	704	117
69	第三回文教大学08・06展	1月23日	1月28日	6	3	日本画、水彩、油彩、彫刻	24	563	93
70	アートでつながる作品展 第1回ファミスフェスティバル	1月23日	1月28日	6	4	日本画、水彩、油彩、工芸、写真	87	1,012	168
71	第47回埼玉国展	1月30日	2月4日	6	1	油彩、写真	58	611	101
72	ラルゲット30周年記念展	1月30日	2月4日	6	2	日本画、水彩、ドローイング、その他、染色	40	697	116
73	令和5年度埼玉県立美術系高等学校 作品展・卒業制作展（5校合同展）	2月7日	2月11日	5	1~4	水彩、油彩、その他、映像、ミクストメディア	800	2,185	437

No.	展覧会名	開催期間 R4年度		開催 日数 (日)	利用室	分 野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
74	第43回野美展	2月13日	2月18日	6	2	日本画、水彩、油彩、ドローイング、彫刻、工芸	55	614	102
75	埼玉大学教育学部美術・図画工作分野卒業制作展有志展「彩展」	2月20日	2月25日	6	2~4	水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻、工芸、写真、書、その他、漫画、アニメーション	67	672	112
76	全日写連ネーチャーフォト支部 写真展	2月27日	3月3日	6	4	写真	69	508	84
77	第49回埼玉書道三十人展	3月5日	3月10日	6	1	書	44	1,661	276
78	第13回関口健司展	3月5日	3月10日	6	2	水彩	32	407	67
79	埼玉現展	3月5日	3月10日	6	3・4	日本画、水彩、油彩、写真、デザイン	91	1,060	176
80	第11回埼玉植物画の会作品展	3月12日	3月17日	6	2	水彩	136	1,164	194
81	鈴木千賀子の世界展	3月12日	3月17日	6	4	彫刻、工芸	100	801	133
82	第8回公募ZEN展	3月19日	3月24日	6	1	日本画、水彩、油彩、版画、ドローイング、彫刻	205	1,232	205
83	第29回彩の国さいたまきりえ展	3月19日	3月24日	6	2	その他、きりえ	91	1,201	200
84	彩の国写真倶楽部・写真展	3月19日	3月24日	6	4	写真	43	906	151
85	TAKARABUNE 2024 アートのまつり 漕ぎ出したアートのまつり	3月27日	3月31日	5	1	その他、インスタレーション	22	818	163
86	第2回白田知恵子アートキルト個展	3月26日	3月31日	6	3	その他、パッチワークキルト	72	844	140
87	手織り工房マノ・デ・アール美術館展（第14回作品展）	3月26日	3月31日	6	4	工芸	75	766	127
		44週	合計	261日			合計	88,167人	337人
		(内訳)	県展以外	241日			県展以外	70,156人	291人
			県展	20日			県展	18,011人	900人

埼玉県立近代美術館 一般展示室利用状況（年度別）

令和6年3月31日現在

年度		一般展示室					備考
		1 (612.8㎡)	2 (231.5㎡)	3 (138.9㎡)	4 (161.3㎡)	計 (1,144㎡)	
30	利用可能週	47	47	47	47	188	92件
	利用週	39	37	36	38	150	
	利用率	83.0%	78.7%	76.6%	80.9%	79.8%	
元	利用可能週	43	43	43	43	172	86件
	利用週	38	34	35	40	147	
	利用率	88.4%	79.1%	81.4%	93.0%	85.5%	
2	利用可能週	39	39	39	39	156	40件
	利用週	16	12	15	22	65	
	利用率	41.0%	30.8%	38.5%	56.4%	41.7%	
3	利用可能週	50	50	50	50	200	61件
	利用週	29	25	24	28	106	
	利用率	58.0%	50.0%	48.0%	56.0%	53.0%	
4	利用可能週	46	46	46	46	184	85件
	利用週	37	39	39	42	157	
	利用率	80.4%	84.8%	84.8%	91.3%	85.3%	
5	利用可能週	46	46	46	46	184	87件
	利用週	38	39	35	42	154	
	利用率	82.6%	84.8%	76.1%	91.3%	83.7%	

※利用実績には県展を含む【R2及びR3は、新型コロナウイルス感染症対策のため、県展は実施されず。】

令和5年度入館者数一覧

	展示事業				普及事業					貸館事業			
	入館者数	企画展示				企画展 関連	MOMAS コレクション 関連	教育・普及 関連	資料閲覧室	一般 展示室	埼玉県美術 展覧会		
		MOMAS コレクション	戸谷成雄 彫刻	横尾龍彦 展覧の彼方	インピット ウィーン							アブソリュート チャェアーズ	企画展計
開催期間	4/1(土) ～ 3/31(日)	4/1(土) ～ 5/14(日)	7/15(土) ～ 9/24(日)	10/14(土) ～ 1/28(日)	2/17(土) ～ 3/31(日)					4/4(火) ～ 3/31(日)	5/31(水) ～ 6/22(木)		
日 (日数)	305	289	39	85	38	15	8	45	149	241	20		
観覧者数 利用者数	167,976	37,724	5,417	7,868	5,066	593	191	1,837	1,719	70,156	18,011		
1日平均	550	130	138	100	133	39	23	40	11	291	900		
一般個人		8,062	2,733	3,574	2,554								
一般団体		1,252	144	284	310								
有料		647	307	341	286								
大高個人		64	5	16	7								
大高団体													
(人)計		10,025	3,189	4,282	3,157								
無料		27,699	2,228	3,586	1,909								
月別入館者数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数	13,314	13,105	21,028	9,171	14,874	13,763	13,195	17,611	10,203	11,385	12,309	18,018	167,976
(令和4年度)	10,567	11,072	26,596	9,018	9,796	13,945	13,157	13,807	6,961	8,338	11,470	14,845	149,572

令和5年度 決算の概要

(単位：千円)

事業名	予算額	割合 (%)	決算額	割合 (%)	残 額
企画展事業費	44,184	23.5%	42,839	24%	1,345
美術館管理運営費	68,708	36.6%	67,585	37%	1,123
教育財産管理費	1,400	0.7%	1,400	1%	0
事務局費〔経常費〕 (財務課で計上)	73,518	39.1%	69,039	38%	4,479
合 計	187,810	100%	180,863	100%	6,947

(収 入)

(単位：千円)

区 分	予算額	割合 (%)	決算額	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
観 覧 料 収 入	15,308	8%	17,374	10%	2,066	13%
一般展示室等使用料	12,122	6%	12,165	7%	43	0%
行政財産使用料	4,356	2%	4,238	2%	△ 118	-3%
図録等売払収入	4,521	2%	4,254	2%	△ 267	-6%
助 成 金	0	0%	0	0%	0	-
そ の 他	606	0%	643	0%	37	6%
一 般 財 源	150,897	80%	142,189	79%	△ 8,708	-6%
合 計	187,810	100%	180,863	100%	△ 6,947	-4%

令和6年度 事業実施状況

1 常設展示事業

(1) MOMASコレクション（常設展）の開催

年間を4つの会期に分け、会期毎に名品を核とした「セレクション」コーナーや多彩なテーマを掲げたコーナーを設定し、作品の魅力を紹介する（一部、借用作品を含む）。

（※有料観覧者数には、企画展観覧券付属の招待券で入場した人数を含む。）

内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
<p>○「セレクション」 ピカソほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「シュルレアリスム宣言100周年」 夢や無意識といったキーワードをもとに、シュルレアリスムの世界を紹介。</p>	82点	自 6月8日（土） 至 8月25日（日） （66日間）	5,223人 1日当たり 121人 うち有料観覧者数 3,516人 1日当たり 81人 （7月31日現在）
<p>○「セレクション」 モネほか、MOMASコレクションの名品を紹介</p> <p>○「旅路の画家」 旅をテーマに、スケッチや版画、日本画などを紹介。</p> <p>○「さいきんのたまもの」 近年新たに美術館のコレクションに仲間入りした作品を紹介。</p>	一点	自 8月31日（土） 至 11月24日（日） （78日間）	一人 1日当たり 一人 うち有料観覧者数 一人 1日当たり 一人
<p>○「セレクション」 シャガールほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「戦後日本美術の開拓者たち」 企画展「没後30年 木下佳通代」の開催にあわせ、関西の作家を中心に、戦後の日本美術の動向を紹介。</p> <p>○「特集：木村直道」 廃品などを使いユーモアあふれる作品を生み出した、県内ゆかりの彫刻家・木村直道の世界を紹介。</p>	一点	自 11月30日（土） 至 令和7年 3月2日（日） （75日間）	一人 1日当たり 一人 うち有料観覧者数 一人 1日当たり 一人

内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
<p>○「セレクション」 シニャックほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「アメリカの美術家たち」 移動や越境をキーワードに、新天地あるいは故郷としてのアメリカ、芸術の実験場としての都市などの視点から、アメリカで活動した作家の作品を紹介。</p>	一点	自 令和7年 3月8日（土） 至 6月1日（日） （71日間）	一人 1日当たり 一人 うち有料観覧者数 一人 1日当たり 一人

(2) コレクション・トークの開催

MOMASコレクションで展示中の収蔵作品から1点を選んで、当館学芸員が解説する。
(年10日程度実施予定)

	期日	担当	解説作品	参加者数
①	5月26日（日）	嶋原学芸員	リートフェルト《レッド・アンド・ブルー》	25人
②	6月23日（日）	吉岡学芸員	キスリング《リタ・ヴァン・リアの肖像》	17人
③	8月17日（日）	佐伯学芸員	ポール・デルヴォー《森》	30人
④	9月7日（土）	松江学芸員	文谷有佳里《何もない風景を眺める》	-
⑤	9月23日（月・祝）	菊地学芸員	堂本印象《鳥言長者草》	-
⑥	10月20日（日）	篠原学芸員	篠原学芸員 斎藤豊作《装飾画（蓮と鯉 I）》	-
⑦	12月22日（日）	佐藤学芸員	郭徳俊《クリントンと郭》	-

※1月以降は、調整中。

2 企画展示事業

(1) 企画展の開催

特定のテーマのもとに、国内外の作品を年4回展示する。

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者数 (予定)
アブソリュート・ チェアーズ	私たちの身近な存在である椅子は、権威の象徴として、記憶の依り代として、あるいは拡張された身体として、様々な意味や象徴性をまとっている。アーティストたちは椅子がもつ意味をとらえ、作品を通じて社会の不和や矛盾、個人的な記憶や他者との関係性などを浮かび上がらせてきた。本展では、椅子をめぐる国内外の平面・立体・映像作品を紹介し、現代美術のなかの椅子の機能や含意を読み解く。	83 点	自 令和6年 2月17日（土） 至 5月12日（日） (76日間/ R6年度・38日間)	R6 年度 6,190 人 1 日当 たり 162 人 うち有料 観覧者数 4,043 人 1 日当 たり 106 人 R5・R6 計 11,256 人
吉田克朗展 ーものに、風景に、 世界に触れる	吉田克朗（1943-1999）は、1960 年代末に登場したものの派の中心的な作家として知られている。その一方、最初期から写真を素材にした版画を制作し、70 年代半ばから風景の断片を描くドローイング、物体の転写やフロッタージュを通して絵画を模索した。80 年代には風景や身体を抽象化した絵画連作「かげろう」を手がけ、その後、黒鉛を手でこすりつけて描く「触」のシリーズを精力的に制作する。本展では、埼玉県深谷市出身の吉田を初めて回顧し、その全貌に迫る。	174 点	自 7月13日（土） 至 9月23日（月・ 祝） (66日間)	2,098 人 1 日当 たり 123 人 うち有料 観覧者数 1,003 人 1 日当 たり 59 人 (7 月 31 日現在) 観覧者 見込 約 10,700 人

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者 見 込
没後 30 年 木下佳通代	<p>木下佳通代（1939-1994）は兵庫を拠点に活動した、関西の戦後美術を代表する作家のひとりである。1960年代半ばより、神戸で結成された前衛美術集団「グループ〈位〉」と行動をともにしながら、存在、認識、空間などをテーマに、三次元と二次元像のズレを写真やゼログラフィーで表現した。その後絵画へと軸足を移していくが、一貫して「存在とは何か」という哲学的な問いに向き合い続けた。本展では、初期から晩年までの代表作を展示し、国内初となる美術館での個展として、作家の全貌を紹介する。</p>	約 130 点	<p>自 10月12日（土） 至 令和7年 1月13日（月・祝） (76日間)</p>	約 12,300 人
メキシコへのまなざし	<p>1950年代の日本では、メキシコ美術が盛んに紹介され、多くの美術家はその鮮やかな色彩や力強い造形表現に魅了された。当館では、開館以来メキシコの近現代美術を収集してきたが、その出発点には、50年代のメキシコ美術に対する熱いまなざしがあったと考えられる。本展では、メキシコに憧れた日本の美術家たちの足跡と、当館のコレクションの双方から、戦後日本がメキシコ美術をどのように捉えたのかを考察する。</p>	調整中	<p>自 令和7年 2月1日（土） 至 5月11日（日） (88日間/ R6年度・51日間)</p>	約 8,300 人 (R6年度内見込)

(2) アーティスト・プロジェクトの開催

MOMAS コレクションや企画展の枠を超え、現在活躍しているアーティストを紹介する展示プログラムとして開催する。

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者 見 込
アーティスト・プロジェクト#2.08 松平莉奈	京都を拠点に活動する松平莉奈（1989-）は、日本画や東洋の絵画の画材や技法をベースに、日本近世の史実や物語、歴史上の人物などを題材にした具象画を制作している。「他者について想像すること」をテーマとした松平が描く人物像は、時にユーモラスに、時に迫力をもって、決して完全にはわかりあえない他者への理解、共感を促す。本展では新作を中心に紹介する。	調整中	自 令和7年 2月 1日（土） 至 5月11日（日） (88日間)	—

(3) 関連事業等の開催

企画展について理解を深めるため、関連事業等を開催する。

ア アブソリュート・チェアーズ

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
4月21日（日）	ワークショップ「埼玉県立近代美術館の避難プロトコルをプレイする。」	檜皮一彦（本展出品作家）	12人	9人

イ 吉田克朗展—ものに、風景に、世界に触れる

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
7月21日（日）	レクチャープログラム ①「吉田克朗を語る」	千葉成夫（美術評論家）	80人	61人
8月31日（土）	レクチャープログラム ②「吉田克朗の絵画について」	沢山遼（武蔵野美術大学准教授、美術評論家）	80人	—

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
9月23日（月・祝）	クロージングイベント 「これからの吉田克朗」	①連続対談 A 吉田有紀（作家ご長男） ×平野到（当館副館長） B 山本雅美（奈良県立美術館学芸課長、吉田克朗研究者） ×西澤晴美（神奈川県立近代美術館主任学芸員、吉田克朗展担当者） ②ラウンドテーブル 吉田有紀（作家ご長男）、 吉田成志（作家ご次男）、 山本雅美、西澤晴美、平野到、 菊地真央（当館学芸員）	各回80人	-

ウ 没後30年 木下佳通代

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
10月19日（土）	レクチャー「展覧会のための調査から見えてきたもの」	大下裕司（大阪中之島美術館学芸員）	80人	-
11月3日（日・祝）	対談「絵画から写真、そして絵画へー存在からも自由になった木下佳通代」	植松奎二（美術家）、建畠哲（当館館長）	80人	-

(4) ギャラリー・トークの開催

より充実した鑑賞の機会とするため、担当学芸員による展示解説を実施する。

企画展	実施日	参加人数
アブソリュート・チェアーズ	4月13日（土）	32人
吉田克朗展	7月14日（日） 8月25日（日）	32人 -
没後30年 木下佳通代	10月27日（日） 12月15日（日）※手話通訳付き	- -

(5) ミュージアム・シアターの開催

映画や音楽、パフォーマンスといった、展覧会ではなかなか紹介できない表現について取り上げるプログラムを開催する。

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
8月3日（土）	ダンスパフォーマンス 「Errance-さすらい」 （同日2回講演） ※講演後、アフタートークあり	振付：ディモ・キリーロフ・ミレフ 出演：三崎彩（コンテンポラリーダンサー）	各回50人	①50人 ②55人

(6) ミュージアム・カレッジの開催

埼玉大学との共催により、企画展に関連したテーマで連続講座を4回程度開催する。

テーマ：「「没後30年 木下佳通代」によせて—絵画、写真を解きほぐす」

期日	テーマ	講師等	定 員	参加者数
11月30日（土）	「クオリアからクオリティへ—色彩と絵画を哲学する—」	高橋克也（埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授）	80人	-
12月7日（土）	「木下佳通代—その思考と生涯」	佐藤あゆか（当館学芸員）	80人	-
12月14日（土）	「コンセプチュアル・アートとしての写真」	井口壽乃（埼玉大学名誉教授）	80人	-
12月21日（土）	「抽象の想像力—女性アーティストの仕事」	中嶋泉（大阪大学大学院人文学研究科准教授）	80人	-

3 美術作品収集事業

近現代美術を対象に、本県にゆかりのある作家及び本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品を収集する。

4 一般向け普及事業

(1) ミュージアム・レクチャーの開催

多くの方々に美術および関連領域に親しんでもらうため、レクチャーを含むプログラムを開催する。内容については当館で開催する展覧会や収蔵作品と必ずしも結び付けず、聴講者が今後当館だけでなく様々な場で作品を鑑賞する時や、制作を行う際の刺激となることをねらいとする。

期 日	内 容	講 師	定員等
11月2日（土）	「ビフォー・アフターを越えて—保存修復の技法と理念」	田口かおり（京都大学大学院人間・環境学研究科准教授）	定 員：80人 参加費：無料

(2) 一般団体案内

企画展やMOMASコレクション展を観覧する2人以上の団体を対象に、スライドによる案内（「スライド・トーク」）を行う。内容は、展覧会の見どころや作品解説、美術館全体の案内、屋外彫刻の解説など、希望に応じた内容・時間で対応する。

なお、視覚障がい者を対象としたガイドや講座も受付ける。

実績：スライド・トーク 4団体 63人

障害者鑑賞ガイドプログラム 3団体 32人

(3) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行う。

開室日時：火・木・土曜日の13時～17時

開室日数：48日

利用者数：768人

(4) 広聴広報活動

ア 来館者の意見を美術館活動に反映していくため、アンケートコーナーを設置する。併せて、企画展、MOMASコレクション、普及関連の講座等にあわせてアンケート調査を実施する。

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望に対し、随時回答を行う。

ウ 広報紙「ソカロ(MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国の美術館等に配布する。

エ 美術館ホームページやX、Facebook等を活用して、企画展やMOMASコレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信する。

オ プレスリリースの配信、記者発表、プレス内覧会の実施など、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEB等各種の媒体に向けて積極的なパブリシティを行う。

カ Google Arts & Cultureに参加し、当館のコレクションやストリートビューを発信する。

キ MOMASコレクション及び企画展の開催にあわせ、JR東日本大宮支社の協力を得て北浦和駅構内にポスターを掲出する。

ク 北浦和地区の自治会、商店会あて、企画展チラシの回覧や掲示を行う。

ケ 県民の日にMOMASコレクション観覧料無料サービスを実施する。

コ 国立国会図書館によるデータベース「ジャパンサーチ」に収蔵作品の情報を提供し、一般に公開する。

カ 県・県民広聴課が令和5年11月14日（火）にWEB上に開設した「バーチャル埼玉」へ引き続き参加し、館の概要や展覧会情報、教育普及事業について掲載する。

5 美術館の利用促進事業

(1) 北浦和公園ポリス・コンサート

北浦和公園の活用を通じて、美術館利用を促進するため、下記の事業に協力する。

期 日	内 容	場 所	客 席	参加者数
6月8日（土）	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課	北浦和公園 噴水公園	100 席	100人 見学 400人

(2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんや未就学児など、乳幼児のお子様と一緒にゆっくり作品を観覧していただけるよう、MOMASコレクション「ファミリー鑑賞会」を実施する。

期 日	内 容	参加者数
調整中	スタッフによる作品解説及び観覧サポート	—

6 子供向け事業

(1) 「MOMASのとびら」

主に土曜日に「MOMASのとびら」としてワークショップを開催する。

各ワークショップは、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や当館ボランティア「教育普及サポート・スタッフ」の協力を得て実施する。アーティストを講師に招くこともある。

各回の定員があり参加者が限られてしまうため、プログラムによっては同じ内容を複数回行う。

ア 「みる+つくる」

MOMASコレクションや企画展を鑑賞し、それをもとに工作などを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
5月18日	「MOMASの形でオブジェを作ろう」	24人	19人
6月22日	※5月18日と同内容	〃	18人
10月 5日	－ 調整中 －	〃	－
10月26日	〃	〃	－

イ 「親子クルーズ」

MOMASコレクションや企画展を親子で鑑賞し、それをもとに工作などを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
11月 2日	－ 調整中 －	12組	－
11月30日	〃	〃	－
令和7年 2月 1日	〃	〃	－
2月 8日	〃	〃	－

ウ 「み～つけ！」

幼児（4歳から）とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しむプログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
6月 1日	「キラキラ枢機卿に大変身」	8組	14人
6月29日	※6月1日と同内容	〃	14人
12月14日	－ 調整中 －	〃	－
12月21日	〃	〃	－

エ 「工房」

美術館ならではの作品づくりを楽しむプログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
7月 6日	「板から椅子ができた」	24人	22人
7月20日	※7月6日と同内容	〃	18人
令和7年 1月18日	— 調整中 —	〃	—
1月25日	〃	〃	—
3月 1日	〃	〃	—
3月 8日	〃	〃	—

オ 「彫刻あらいぐま」

屋外彫刻を親子で洗って鑑賞する。彫刻ボランティアが講師として活動する。

期 日	内 容	定 員	参加者数
4月27日	「あらって見よう！彫刻作品」	6組	12人
5月11日	〃	〃	10人
9月21日	〃	〃	—
9月28日	〃	〃	—

カ 「フリープログラム」

天候・会場等に合わせ、誰でも気軽に参加できるプログラムを実施する。

プログラムの内容や会場等に応じて、時間制で複数回実施する。

期 日	内 容	定 員	参加者数
4月 6日	「洗濯ばさみで絵を描こう！」	40人	45人
4月20日	「キラキラ★カチカチスプーンワールド！」	40人	75人
5月 4日	「風を描こう！」 「洗濯ばさみで絵を描こう！」	40人	268人
10月12日	— 調整中 —	調整中	—
12月7日	— 調整中 —	調整中	—
令和7年 1月11日	— 調整中 —	調整中	—
2月15日	— 調整中 —	調整中	—

キ 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別プログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
8月 3日	「大きな布に手で描こう！」	24人	17人
8月10日	「フリープログラムDAY」	40人	192人
8月17日	「親子でガムテープのズック屋さん！」(2回実施)	48人	48人
8月24日	「手はおひざ～じゃなくて、なにしよう!？」	24人	—

ク 「もますまつり」

県民の日に、誰でも参加できるプログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
11月14日（木）	－ 調整中 －	調整中	－

(2) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子供たちが美術館を効果的に活用できるよう、ボランティアを活用して情報提供やアドバイス等を行う。

※小中学校の夏休み期間に合わせて休館日を除き毎日開催（7/13～8/27、41日間）

(3) 「夏休みガイド・ツアー」

来館した小・中学生を主な対象として、夏休み期間中に3回程度、各回午前中の30分間、常設展示室をサポート・スタッフが対話型の鑑賞を行いながら案内する。

7 学校との連携

(1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図る。

期 日	内 容	定 員	参加者数
8月 7日（水）	初級「多様な描画材体験を通じて創作活動をアップデート！」 （講師：石上城行／埼玉大学教育学部芸術講座 教授）	24人	26人
8月 8日（木）	中級「造形素材の加工体験を通じて創作活動をアップデート！」 （講師：石上城行／埼玉大学教育学部芸術講座 教授）	24人	22人

(2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

埼玉大学の学生が、美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する協定を継続。他大学にも、様々な教育普及事業への協力を依頼する。

(3) 博物館実習生の受入れ

「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要領」に基づき、学芸員志望の学生向けに実習を行う。

実績：14大学18人

(4) 学校を含めた団体利用の受入れ

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行う。

- ① 1階展示室「MOMAS コレクション」案内
- ② 2階展示室「企画展」案内
- ③ かならず出会える作品たち（屋外彫刻）案内
- ④ グッドデザインの椅子鑑賞

⑤ワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう！」体験

⑥アートカードを使った鑑賞

⑦バックヤード見学

実績：23 団体（7 月 31 日現在）

(5) 学校への授業協力

以下の内容の他、児童生徒の実態や授業のねらい等に合わせた出張授業を行う。

①「知ってる？ピカソ！」

②「日本画って何だろう？」

③「みつめよう！シャガールさんのこの思い」

④「見て★座って！お気に入りの椅子をみつけよう！」

⑤「洗濯ばさみで絵を描こう！」

実績：15校（7月31日現在）

(6) 研修協力

依頼に応じて、各学校の校内研修や市町村単位での図工・美術の授業研究において講義等を行う。

実績：3 件（7 月 31 日現在）

(7) 学校等への複製画やアートカードの貸し出し

当館収蔵作品の複製画や複製パネル、アートカードなどの教材貸出を行う。

実績：7件37セット（7月31日現在）

(8) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

県内の学校にアーティストと当館職員を派遣してワークショップを行い、鑑賞や制作活動を通して児童生徒に美術の楽しさや美術的な価値観・視点を伝えるための授業を実施する。（年2校での実施を予定）

・「丸シールでいろいろな世界を描こう！」

講師：大村雪乃（現代美術家）

(9) 公募プログラム

「みつめて、かんじて、たべてみて！-作品のみかた・味わいかた」の開催

美術館における教育普及活動の価値をアピールし、学校連携の強化・継続を図るため、県内の児童生徒を対象とした公募プログラムを実施する。

4点の課題作品（※）から1点を選び鑑賞し、作品からわき上がった「食」のイメージを描くプログラムを開催する。

対象：県内の小学校、義務教育学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校（級）の児童生徒（個人または4人以下のグループ）

作品受付期間：7月19日（金）～9月20日（金）

課題作品：①因藤壽《こんばんは》1951年

②ジャン・アルプ《バラを食べるもの》1963年

③宮島達男《Number of Time in Coin-Locker》1996年

④フィリップ・スタルク《ラ・マリー》製品化：1998年
入賞作品展示期間：10月29日（火）～1月13日（月・祝）
表彰式：11月10日（日）

8 ボランティア活動

(1) 美術館サポーター

常設展の解説ガイドを行うボランティアとして平成12年に発足し、当館が月1回開催する研修会へ参加するとともに、自主的な研修を重ねている。主な活動としては、「MOMAS コレクション」開催中のほぼ毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため作品解説を行う。

※登録者数：25人（7月31日現在）

(2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASのとびら」等の教育普及事業をサポートするボランティア・スタッフ。教員や美術教育に関心を持つ学生等が参加し、毎年6月中旬から7月初めに行う研修を経て、1年間の任期で活動を行う。

※登録者数：74人（7月31日現在）

(3) 彫刻ボランティア

平成29年度より、土曜日の子供向け普及事業「MOMASのとびら」にて、彫刻洗浄プログラムを行う際の外部講師として活動している。

※登録者数：8人（7月31日現在）

9 「椅子」の有効活用

国内外のグッド・デザインの椅子を、来館者に自由に鑑賞してもらおう。これらの椅子は、企画展やMOMAS コレクションの展示替えに合わせ、定期的に入れ替えを行い、常時20脚～30脚程度を館内の各所に配置するとともに、当館ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介している。また、学校への授業協力等でも活用している。

10 一般展示室の利用状況

令和6年7月31日現在

No.	展覧会名	開催期間 R6年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	第13回五彩展	4月2日	4月7日	6	3	水彩、油彩、コラージュ	35	472	78
2	apipoのペン画展	4月2日	4月7日	6	4	ペン画、アクリル画	100	808	134
3	第52回主体美術武蔵野作家展	4月9日	4月14日	6	2・3	油彩	68	510	85
4	第39回溪水会展	4月9日	4月14日	6	4	日本画、水彩、油彩、版画	48	469	78
5	第18回フォト・トルトゥーガ写真展	4月16日	4月21日	6	2	写真	60	513	85
6	群炎埼玉支部展	4月16日	4月21日	6	3	水彩、油彩、工芸、写真、創作人形	34	493	82
7	ヨシズミトシオ展 ありあるクリエイションズ創立20周年記念	4月16日	4月28日	12	4	油彩、版画、水墨画	40	913	76
8	第47回女流工芸展in埼玉	4月23日	4月28日	4	1	工芸	155	1,050	262
9	第9回栗田 ひさし・梨伽絵画二人展	4月23日	4月28日	6	3	日本画、水彩、アクリル、水墨画	61	692	115
10	第27回埼玉二科展	4月30日	5月5日	6	1~4	水彩、油彩、彫刻、デザイン	107	997	166
11	第72回埼玉県美術展覧会	5月29日	6月20日	20	1~4	日本画、油彩、彫刻、工芸、書、写真	3,157	20,302	1,015
12	第43回埼玉県高等学校写真連盟写真展	7月2日	7月7日	6	1	写真	635	1,046	174
13	第29回基の会展	7月2日	7月7日	6	2	油彩、ミクストメディア	17	354	59
14	第34回白の会洋画展	7月2日	7月7日	6	3	油彩	22	362	60
15	第22回埼玉独立展	7月9日	7月14日	6	1	水彩、油彩、アクリル等	67	682	113
16	2024埼玉モダンアート展	7月9日	7月14日	6	2・3	水彩、油彩、版画、彫刻、工芸	34	616	102
17	ヤクモタロウ個展「本能-instinct-」(Taro Yakumo Solo Exhibition「instinct」)	7月9日	7月14日	6	4	油彩、アクリル画	21	418	69
18	第50回埼玉二紀展	7月16日	7月21日	6	1~4	油彩、彫刻	98	878	146

令和6年度入館者数一覧（令和6年7月31日現在）

	展示事業						普及事業					貸館事業	
	入館者数	企画展示					企画展 関連	MOMAS コレクション 関連	教育・普及 関連	資料閲覧室	一般 展示室	埼玉県美術 展覧会	
		MOMAS コレクション	アップリケー ト・フェア ーズ	吉田克朗展	没後30年木 下佳通代	メキシコへの まなざし							企画展計
開催期間	4/1(月) ～ 7/31(水)	4/1(月) ～ 7/31(水)	4/1(月) ～ 5/12(日)	7/13(土) ～ 9/23(月)	10/12(土) ～ 1/13(月)	2/1(土) ～ 5/11(日)				4/2(火) ～ 7/21(日)	5/29(水) ～ 6/20(木)		
日 (日数)	99	94	38	17			55	4	2	19	48	20	
観覧者数 利用者数	65,946	12,768	6,190	2,098			8,288	134	42	669	11,273	20,302	
1日当たり 平均	666	135	162	123			150	3	21	35	234	1,015	
有料	一般個人	3,863	3,334	857			4,191						
	一般団体	514	347	76			423						
	大高個人	295	349	69			418						
	大高団体	6	13	1			14						
合計		4,678	4,043	1,003			5,046						
無料		8,090	2,147	1,095			3,242						
月別入館者数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数 (令和5年度)	14,617	15,842	22,931	12,556									65,946
	13,314	13,105	21,028	9,171	14,874	13,763	13,195	17,611	10,203	11,385	12,309	18,018	167,976

令和6年度 当初予算の概要

(支 出)

(単位：千円)

年度 事業名	6年度 当初予算	割合 (%)	5年度 当初予算	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
企画展事業費	50,192	29.0%	54,363	39.0%	△ 4,171	-7.7%
美術館管理運営費	71,158	41.2%	72,856	40.7%	△ 1,698	-2.3%
教育財産管理費	1,400	0.8%	1,400	0.8%	0	0.0%
事務局費〔経常費〕 (財務課で計上)	50,093	29.0%	50,315	28.1%	△ 222	-0.4%
合 計	172,843	100.0%	178,934	109%	△ 6,091	-3.4%

(収 入)

(単位：千円)

年度 事業名	6年度 当初予算	割合 (%)	5年度 当初予算	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
観覧料収入	21,767	12.6%	25,371	14.6%	△ 3,604	-14.2%
一般展示室等使用料	13,842	8.0%	13,616	7.6%	226	1.7%
行政財産使用料	4,730	2.7%	4,919	2.7%	△ 189	-3.8%
図録等売払収入	6,692	3.9%	6,358	3.6%	334	5.3%
そ の 他	977	0.6%	977	0.5%	0	0.0%
一 般 財 源	124,835	72.2%	127,693	71.4%	△ 2,858	-2.2%
合 計	172,843	100.0%	178,934	100.4%	△ 6,091	-3.4%

令和6年度 博物館施設 目標設定・評価シート

年度当初目標設定

中間評価(6月末実績)

年度末確定評価

施設名 近代美術館

I 自己点検・分析

- 1 館の使命・ビジョン
- 2 現状分析と課題の抽出
- 3 チェックリスト(自己点検表)

II 目標設定

- 1 中期重点目標と取組みの設定
- 2 単年度指標による数値目標と達成値
- 3 取組みの概要

III 評価

- 1 自己評価総括
- 2 外部評価委員等によるコメント

I 自己点検・分析

1 館の使命・ビジョン

- 1 美術と出会い、新たな考え方や価値を発見するための体験を提供します。
- 2 人々が集い、参加し、交流するための基地となります。
- 3 未来を創る子供たちの感性と創造力を育みます。
- 4 地域や県民とともに進化する美術館を目指します。

2 現状分析と課題の抽出

・出会い・発見・感動をキーワードに、新たな視点に基づく企画展・常設展や美術の楽しさを体感できるプログラムの提供に努めており、今後も更なる充実を図る必要がある。

そのためには、美術資料収集基本方針に基づいた体系的なコレクションを形成し、作品の継続的な収集と適切な保存に努めるとともに、美術館活動の基盤となる調査研究を推進しなければならない。

・美術館では、展示室に加え、レストランやミュージアムショップなども備えているが、より上質な空間とゆとりの時間を提供できるような工夫をしなければならない。併せて、高齢者・障害者を含め誰もが利用しやすく、居心地の良い環境となるよう老朽化した施設設備の整備に努める必要がある。

・また、「MOMASのとびら」をはじめとする、子供向け教育・普及事業を積極的に実施している一方で、子供たちが感性や創造力を生き生きと発揮できる事業の検討が求められている。

・地域との連携を一層深めるとともに、美術館が地域の賑わいや活性化に寄与することが求められている。併せて、地域住民の憩いの場である北浦和公園の整備と活用も進める必要がある。

・デジタル化に対応するため、収蔵作品のデジタル・アーカイブ化とその公開を進めるなど、デジタル技術を活用した取組を推進して新たな顧客層の開拓を進めることが必要である。

II 目標設定

1 中期重点目標と取組の設定

【中期重点目標】

- | | |
|------------------------------------|---------|
| ① 美術資料の体系的な収集と適切な保存のための施設の確保に向けた検討 | 令和5～9年度 |
| ② 調査研究と企画展・常設展等の更なる充実 | 令和5～9年度 |
| ③ 利用者のための快適な環境づくり | 令和5～9年度 |
| ④ 子供たちの感性と創造力の育成 | 令和5～9年度 |
| ⑤ 地域の賑わいや活性化の創出 | 令和5～9年度 |
| ⑥ デジタル技術の活用の推進 | 令和5～9年度 |

【取組】

- ① 美術作品取得基金における動産の買戻しへの働きかけと新収蔵庫等の確保に向けた検討
- ② 収蔵作家、埼玉ゆかり作家の調査研究とその成果を生かした展示等の実施
 <企画展・常設展の満足度 各年度90%以上>
- ③ 美術館と北浦和公園の計画的な施設設備の整備
 <改修・修繕件数 R5:30件、R6:30件、R7:30件、R8:30件、R9:30件>
- ④ 子供向け教育・普及事業の充実
- ⑤ (1) 地域の賑わいや活性化を創出する取組の実施
 (2) 一般向け教育・普及事業の実施
- ⑥ 収蔵作品のデジタル画像(高精細画像を含む)の公開
 <公開画像件数 R5:1900件、R6:2300件、R7:2700件、R8:3100件、R9:3500件>

(1) 全館共通項目

項目	達成基準		達成度	課題等
チェック内容		実施しているが、取組が不十分	2	
		実施、又は達成している	3	
資料収集	①	資料の収集方針、収集計画に基づき、資料収集を適切に行っているか	2	寄贈による作品収集は行っているが、予算上作品購入が困難な状況。
	②	映像資料や情報資料等を収集しているか	3	
資料の保存管理	①	収蔵・展示資料の保存管理に関する要項に基づき、資料の保存管理を適切に実施しているか	3	
	②	資料の所在確認とともに状態の点検を定期的に行うなど、資料を適切に管理しているか	3	
	③	資料の修復や保存処理等の措置を計画的あるいは必要に応じて行っているか	2	予算の範囲内で修復作業を行っているが、十分ではない。
	④	資料のデータベースの情報を適宜更新し、公開しているか。	3	
資料活用	①	収蔵資料の館外貸出及び特別利用に適切に対応しているか。	3	
	②	収蔵資料をホームページやSNS等で紹介・更新しているか	3	
	③	収蔵資料のデジタル・アーカイブ化(画像を含めた)に取り組んでいるか	3	作品情報は公開している。画像は、著作権者に意向を伺いながら、可能な作品は、公開の手続きを進めている。
常設展示	①	展示設備等を適宜点検しているか	3	
	②	常設展示は定期的に更新しているか。	3	
	③	展示ガイドあるいは解説リーフレットを作成し、必要に応じて内容を更新しているか	3	展示替え毎に、閲覧できる解説カードを設置している。
	④	展示解説等を適宜実施しているか	3	コレクション・トーク
	⑤	アンケート結果等を活かした展示改善を実施しているか	3	
	⑥	日本語を母語としない入館者に配慮した案内表示や展示パネル表示、パンフレット等の配布を行っているか	2	館内サイン、常設展示の作品名は、英語表記等に対応済み。企画展のコーナー解説や掲出物の翻訳は一部に限る。
	⑦	観覧者の満足度は得られているか	3	
学習支援・普及事業	①	誰もが参加しやすい普及事業を実施しているか(参加申込み方法・プログラム内容・サポート体制等)	3	
	②	アンケートなど県民の意見をプログラムの開発・改善に取り入れる工夫をしているか	3	
	③	来館者用の図書・情報コーナーを適切に運営しているか	3	
	④	学芸員実習やインターンシップを積極的に受け入れているか	3	

項目	チェック内容	達成度	課題等
情報発信	① SNS等その他のあらゆる媒体を活用して、誰もが受け取ることができる情報発信に努めているか	3	
	② 資料その他の専門分野に関する調査研究の成果を生かした情報発信に努めているか	3	
	③ 定期的に内容を更新し、常に新しい情報発信を行っているか	3	
	④ デジタル技術を活用したコンテンツの制作・公開に取り組んでいるか	3	著作権者に了解を得られた資料から順次、デジタル画像等を公開している。
県民との協働・地域連携	① ボランティア活動に関する規程に基づいて、適切に運用されているか	3	
	② ボランティア研修を適切に実施しているか	3	
	③ 外部団体が館事業に参加する機会を設けているか	3	
	④ 地域で実施されるイベント等に積極的に関わっているか	3	
	⑤ 地域の多様な主体との連携に取り組んでいるか	3	
調査研究	① 収蔵資料に関する調査研究に積極的に取り組んでいるか	3	
	② 資料の保存・管理、展示・教育普及、博物館経営等の博物館学分野での調査研究に取り組んでいるか	3	
	③ 館の所在する周辺地域や地域資料についての調査研究に取り組んでいるか	3	
	④ 学芸員の専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	3	
	⑤ 調査研究の経過や成果を、さまざまな媒体・方法(著作物、展示、講演、研究発表等)で公開しているか	3	
施設・アメニティー	① 施設の維持・改善についての計画を策定し、定期的に更新しているか	3	
	② バリアフリー化など、改善必要箇所の把握のため自己点検を行っているか	3	
	③ 一般駐車場と障害者用駐車場を区別しているか	3	
	④ 手すり、点字ブロック、音声ガイダンスなどユニバーサルデザイン化への取り組みがなされているか	2	トイレ等の音声ガイダンスは未実施。
	⑤ 館内サインの英文標記など国際化への対応はとられているか	2	英・中・ハングル語のフロア案内のみにとどまっている。
	⑥ 展示室内の安全性の確保(監視員の配置・監視カメラの設置等)に努めているか。	3	
施設の利活用	① 施設利用のための情報を公開しているか	3	
	② 施設を一般及び学校団体等の利用に提供しているか	3	
	③ 施設が地域の賑わい創造や活性化に活用されているか	3	
	④ 施設利用が、地域や他施設・機関・学校等との連携に役立っているか	3	

施設名 近代美術館

(2)館別独自項目

		達成基準	
		未実施、又は取り組まれていない	1
		実施しているが、取組が不十分	2
		実施、又は達成している	3
項目	チェック内容	達成度	課題等
企画展示の実施	① 企画展の理解を深めるため学芸員や関係者による展示解説、講演会等を適宜実施しているか	3	
	② 展示内容に即した弾力的な広報活動を実践しているか	3	
	③ 外部資金の導入に努力しているか	3	
	④ アンケート結果等を活かした展示改善を実施しているか	3	
教育普及および連携・支援活動の実施	① 美術や芸術全般に対する理解を深めるテーマを設定した事業を適宜実施しているか	3	
	② 授業や部活などの受け入れ体制を整備しているか	3	
	③ 教員の資質向上を目的とした研修を実施しているか	3	
	④ 学校への職員派遣など、授業協力を実施しているか	3	
	⑤ 大学と協働して学生を適切に指導しているか	3	
流地域・域協力事業との実施	① 地域・他機関・他美術館との協力事業を実施しているか	3	
	② 企画展等を通じ国外美術館等と相互交流を図っているか	3	
	③ 北浦和公園を活用した地域との交流・協力事業を実施しているか	3	彫刻あらいぐま、ポリスコンサート、自治会も含めた公園の防災設備の使用訓練等は実施。個人・近隣企業のボランティアによる植栽の手入れ等も実施している。
収蔵作品等の保全と危機管理	① 収蔵庫における収蔵作品と防災対策は適切か	3	
	② 展覧会会場の作品保全と防災対策は適切か	3	
	③ 美術作品の梱包、運搬は適切に行われているか	3	
	④ 屋外彫刻のメンテナンスを行っているか	2	定期的に洗浄は実施しているが、対応が難しい彫刻素材等の劣化がある。
	⑤ 危機管理マニュアル等は適宜、見直しを行っているか	3	
	⑥ 危機管理マニュアル等は、全職員に周知しているか	3	
	⑦ 開館中や閉館時など、様々な場面を想定した避難訓練を行っているか	3	

Ⅱ-2 単年度指標による目標値と達成値

(1) 全館共通項目

	視点	項目	指標	目標値		達成率	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	使命1~4 全般的活用	利用者数	年間入館者とアウトリーチ参加者数	203,000	人		教育振興基本計画を踏まえた目標値
2	使命1 展示公開	常設展観覧者	年間常設展観覧者数	37,730	人		基準値: 34,956人 目標参考値: 37,724人 基準値: 過去5年間の最小値及び最大値を除いた分の平均値 目標参考値: 基準値と昨年度値を比較し大きい方の数値
3	使命1~4 全般的活用	利用者数	1日当たりの利用者数	670	人		(年間入館者+アウトリーチ)÷開館日数 上記の過去5年間の最小値及び最大値を除いた分の平均値(基準値)か昨年度値と比較して大きい方の数値(目標参考値)
4	使命2~4 情報発信・活用	デジタル情報の利用状況	HPアクセス数	912,250	件		基準値: 875,550件 目標参考値: 912,242件 基準値: 過去5年間の最小値及び最大値を除いた分の平均値
5	使命1~4 情報発信	広報活動	メディア掲載件数	240	件		基準値: 238件 目標参考値: 238件 基準値: 過去5年間の最小値及び最大値を除いた分の平均値
6	使命1~3 活用・利用提供	経営努力	観覧料および事業等収入額	25,992,000	円		* 当該年度予算計上額(企画展)

(2) 館別独自項目

	視点	項目	指標	目標値		達成率	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	使命1 展示公開	企画展観覧者	年間企画展観覧者数	37,557	人		実施予定の企画展の予算積算人数
2	使命3 学校との連携	学校利用	学校団体の美術館利用校数	40	校		基準値: 31校 目標参考値: 36校 上記の過去5年間の最小値及び最大値を除いた分の平均値(基準値)か昨年度値と比較して大きい方の数値(目標参考値)
3	使命3 学校との連携	授業協力	学校での鑑賞授業の回数	50	校		基準値: 45校 目標参考値: 45校 上記の過去5年間の最小値及び最大値を除いた分の平均値(基準値)か昨年度値と比較して大きい方の数値(目標参考値)
4	使命3 子供向け事業	MOMASのとびら	MOMASのとびら参加人数	1,390	人		基準値: 846人 目標参考値: 1,386人 上記の過去5年間の最小値及び最大値を除いた分の平均値(基準値)か昨年度値と比較して大きい方の数値(目標参考値)
5	使命1 満足度	アンケート	企画展・常設展の満足度	90%以上	%		中期重点目標による取組
6	使命2 施設設備の整備	改修・修繕	改修・修繕件数	30	件		中期重点目標による取組
7	使命4 デジタル技術の活用	収蔵作品のデジタル画像	公開画像件数	2,300	件		中期重点目標による取組

※ 利用者数=常設展観覧者数+無料入館者数+アウトリーチ参加者数 常設展観覧者数=特別展・企画展観覧者数+常設展のみの観覧者数
 ※ 基準値: 過去5年間の最小値及び最大値を除いた分の平均値 目標参考値: 基準値と昨年度値を比較して大きい方の数値 目標値: 目標参考値の1の位を繰り上げた数値 ※ 目標値の設定については、経年の実績を同じ指標で比較することで、それぞれの年度の特徴づけをするために、新型コロナウイルス感染症による利用者への影響等を考慮しないで、例年通りの方法を採用した。

3 取組の概要

施設名

近代美術館

1 数値目標による評価

(1) 全館共通項目

- 利用者数、利用状況、広聴・広報、経営努力

新型コロナウイルスによる利用者の減少を回復させるため、企画展、常設展等のさらなる周知をはかる。

また、引き続き感染症拡大防止に努めながら、トークイベントや担当学芸員の作品解説のほか、主催事業の参加者の増加を見込んでいる。

(2) 館別独自項目

- 企画展

館HPやチラシの配布など広報活動により企画展内容の魅力発信を行い、入館者数の増に結びつけていく。

- 学校との連携

広報活動等を積極的に行うことにより学校の美術館利用を促進し、学校での鑑賞授業回数を増やしていく。

- 子供向け事業

MOMASのとびらなどについて、引き続き感染症拡大防止に努めながら、よりたくさんの参加者を募ることができるよう、内容の充実と広報活動を進める。

- 情報提供サービス、インターネット活用などの利用状況

美術館に関心を持ってもらえるよう広報を充実させ、年間レファレンス対応件数を伸ばすとともに、ホームページの内容を魅力あるものに改善していく。

- 満足度

企画展・常設展については既に満足度が90%以上と高い満足をいただいている。来館者の声を聴き、各展示の充実に努めていく。

Ⅲ 評価

1 自己評価総括

(1) 評価

(2) 課題と対応の方向

2 外部評価委員等によるコメント

<報道発表資料>

.....
カテゴリー:お知らせ

令和6年8月5日

県立近代美術館 入館者 900 万人達成！ 達成記念キャンペーンとして企画展ポスターをプレゼント

県立近代美術館（館長 建畠 哲）は、昭和 57 年 11 月 3 日の開館以来、多くの皆様に御来館いただき、8 月 4 日（日曜日）に 900 万人目のお客様をお迎えすることができました。900 万人目の入館者となった福島さん親子（さいたま市在住）には、建畠館長から当館の名品選カタログとミュージアムショップ・オリジナルグッズのセット（トートバッグ、ポストカード、クリアファイル）、企画展の招待券を贈呈しました。

現在、当館では本県深谷市出身の美術作家、吉田克朗の回顧展となる企画展「吉田克朗展 ーものに、風景に、世界に触れる」を開催中です。今回の入館者 900 万人達成を記念し、8 月 6 日（火曜日）より当館ミュージアムショップにて「吉田克朗展」の図録（税込 3,960 円）を御購入のお客様先着 50 人にポスター（非売品）をプレゼントします。

このほか、MOMAS コレクション（収蔵品展）、夏休みの子供向け体験事業など、魅力的な展示・事業も行っています。ぜひ御来館ください。

【900 万人目の入館者のプロフィール】

- (1) 氏名：福島 佳子（ふくしま よしこ）さん
- (2) お住まい：さいたま市
- (3) 900 万人目の感想：長女の夏休みの課題のため来館した。長女も次女も美術館に来るのは初めて。良い記念になった。

【埼玉県立近代美術館について】

- (1) 開館時間 10 時から 17 時 30 分まで（展示室への入場は 17 時まで）
※資料閲覧室（3 階）は、火曜日、木曜日、土曜日の 13 時から 17 時
- (2) 休館日 月曜日（祝日または県民の日の場合は開館）、
年末年始、メンテナンス日

(3) 入館料 無料

(4) 観覧料 MOMAS コレクション：一般 200 円、大・高生 100 円

企画展：企画展ごとに定めます。

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方（付添 1 名含む）は無料

(5) 所在地 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 9-30-1

(6) 交通案内 JR 京浜東北線北浦和駅西口より徒歩 3 分（北浦和公園内）。

JR 東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約 35 分。

当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「タイムズ埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で 300 円引き、MOMAS コレクション観覧で 100 円引き）。

団体バスは事前に御相談ください。お体の不自由な方の来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので事前に御連絡をお願いします。

(7) 沿革

昭和 57 年	「埼玉県立近代美術館」開館
昭和 62 年	入館者 100 万人達成
平成 4 年	入館者 200 万人達成
平成 9 年	入館者 300 万人達成
平成 13 年	入館者 400 万人達成
平成 17 年	入館者 500 万人達成
平成 21 年	入館者 600 万人達成
平成 25 年	入館者 700 万人達成
平成 30 年	入館者 800 万人達成
令和 6 年	入館者 900 万人達成

【開催中の展示・事業】

1. 企画展「吉田克朗展 一ものに、風景に、世界に触れる」

(1) 会 期 2024 年 7 月 13 日（土曜日）～9 月 23 日（祝日・月曜日）

※一部展示替えあり

（前期：7 月 13 日-8 月 18 日、後期：8 月 20 日-9 月 23 日）

(2) 観覧料 一般 1100 円（880 円）、大高生 880 円（710 円）

・（ ）内は 20 名以上の団体料金

・中学生以下と障害者手帳を御提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料です。

・企画展観覧券（ぐるっとパスを除く）をお持ちの方は、あわせてMOMASコレクション（1階展示室）も御覧いただけます。

- (3) 出品点数 作品・資料約 170 点
- (4) 主催 埼玉県立近代美術館、東京新聞
- (5) 助成 公益財団法人ポーラ美術振興財団
- (6) 出品協力 The Estate of Katsuro Yoshida、東京都現代美術館
- (7) 協力 JR 東日本大宮支社、FM NACK5

2. MOMAS コレクション（収蔵品展）

- (1) 会期 2024年6月8日（土曜日）～8月25日（日曜日）
- (2) 観覧料 一般 200 円（120 円）、大高生 100 円（60 円）
 - ・（ ）内は 20 名以上の団体料金
 - ・中学生以下と障害者手帳を御提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料です。
 - ・企画展観覧券（ぐるっとパスを除く）をお持ちの方は、あわせてMOMASコレクション（1階展示室）も御覧いただけます。
- (3) 協力 JR 東日本大宮支社

3. アート体感ワークショップ「MOMAS のとびら」

夏休み拡大版 サマー・アドベンチャー「フリープログラム DAY」

- (1) 開催日 2024年8月10日（土曜日）
- (2) 時間
 - ①「わくわく鑑賞ツアー」10:30～、11:00～、11:30～ ※各回 30 分程度
 - ②「洗濯ばさみで絵を描こう！」10:30～12:00、14:00～15:30
 - ③「カクカクつなげて遊ぼう！」14:30～15:30
- (3) 参加方法 事前予約不要で当日どなたでも御参加いただけます。

【参考情報】

県立近代美術館

ホームページ：<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

公式 X（旧 Twitter）：https://X.com/momas_kouhou

公式 Facebook：<https://www.facebook.com/momaspr>